「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集：FXニュースレター　　執筆担当：斎藤登美夫

▼▲▼

◇◆◇　No.0632　◇◆◇　　21/04/21

【 「ラマダン」はじまる、金融市場への影響如何に!? 】

イスラム教の重要イベントである「ラマダン」が先日から始まった。日程などについては後述するとして、近年では金融市場においても幾つかの意味で注目を集めており、今年も当然要注意だ。
金融市場的にも十分に注意すべきイベントだが、それ以外、たとえば今年も日本の外務省が「イスラム教のラマダン月のテロ事件に注意喚起の広域情報」を発表するなど、コロナ禍にもかかわらず、地政学リスクの観点からも侮れない。以下では、「ラマダン」に関し 2 つの側面からレポートしてみる。

＜＜ コロナ禍だが、期間中の「自爆テロ」などにも要注意 ＞＞

「ラマダン」と自爆テロ、本来であれば直接的な関係などまったくないわけだが、2015 年にイスラム過激派組織ISが、インターネット上で、「ラマダン期間中のテロを広く呼びかける声明」を公開。それに呼応する格好でフランス、エジプト、クウェート、マリ、ナイジェリアでテロが発生したほか、翌 2016 年にはバングラデシュにおいて、日本人 7 人が犠牲になるという飲食店襲撃テロが起こったことはいまだ記憶に新しい。
つまり、外務省が今年も渡航注意を喚起しているように、近年は「ラマダン期間中にテロが発生する」傾向が高く、今年は依然コロナ禍にあるとはいえ、何某かの事件が発生する可能性を否定できないようだ。

ちなみに、そんな「ラマダン期間」、今年は「4 月 13 日ごろから 5 月 15 日ごろ」と言われている。日程に「ごろ」をつけて特定しなかったのは、「期間は目視による月齢観測に依拠するため、日程は直前に変更されることもある」ためだ。1-2 日ほど、ズレても不思議はないかも知れない。
また、いわゆる「ラマダンの期間」だけでなく前後数日、とくに終了後の「イード」と呼ばれるラマダン明けの祭りが行われる約 3 日間はテロを中心に、事件が起きやすいことが知られている。ザックリ言って今年は「4 月 13 日から 5 月 20 日」といった期間が要注意であることは頭に入れておいて損はないだろう。

＜＜ 経験則的に為替相場は小動きに留まる公算 ＞＞

一方、ラマダン期間中の為替（ドル/円）変動を調べてみると、おおむね小動きに推移する傾向がうかがえる。とくに、2010 年以降という近年、その傾向がとくに強い（右下表を参照）。
詳細は実際の表を参照されたいが、2012 年や 2014 年のように、およそ 1 ヵ月程度の期間中の変動が 1 円台というケースがあるほか、昨 2020 年も 2.1 円という動きにとどまっていたことがうかがえる。対して、明らかに「大きく動いた」と言えるケースは期間中だけで約 9 円もの変動を達成した 2016 年のみだった。

何故、ラマダン期間中の為替変動は鈍いのだろうか。明確な相関性はわかっていないが、ラマダンが関係するイスラム教徒は中東地域に多く、いわゆるオイルマネーの動きに影響を及ぼすことを理由に挙げる向きも少なくない。
いずれにしても、ドル/円相場は年明け以降、3 月末まで順調な右肩上がりをたどり、そののち調整局面と思しき様相を呈しているが、ここ最近は動きが再び低迷し始めている。これなどもヒョッとすると、先週からラマダンが始まったことの影響があるのかもしれない。あまり考えたくはないが、方向性の乏しい商状は思いのほか長く続く可能性もある。（了）

年	ラマダン期間		ドル/円の4本値			
			OPEN	LOW	HIGH	CLOSE
2010	8月11日	9月9日	85.92	83.34	86.39	83.79
2011	8月1日	8月29日	77.35	75.95	80.26	76.84
2012	7月20日	8月18日	78.75	77.90	79.88	79.55
2013	7月9日	8月7日	100.14	96.32	101.30	96.93
2014	6月29日	7月27日	101.43	101.06	102.27	101.85
2015	6月18日	7月16日	123.57	120.41	124.38	124.15
2016	6月6日	7月5日	106.67	99.00	107.91	101.71
2017	5月27日	6月25日	111.26	108.76	111.79	111.27
2018	5月16日	6月14日	110.29	108.12	111.39	110.62
2019	5月5日	6月3日	110.64	107.89	110.96	108.07
2020	4月24日	5月23日	107.16	105.99	108.09	107.62
2021	4月13日	5月12日	109.38			

▼▲▼

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

◆◇◆　Copyright （C） fx-newsletter limited company All Rights Reserved　◆◇◆